



# ぼらんていあ通信

1月号  
通巻 No.494

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2023年1月24日

連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内

TEL/FAX:042-759-7982 Eメール:sagamiva@feel.ocn.ne.jp HPアドレス:https://sagamiva.info/



## 2023年新年のご挨拶

会長 高橋 功

会員の皆様新年明けましておめでとうございます。今年には好天に恵まれ皆様素晴らしいお正月を迎えられたことと思います。今年の干支は癸卯（みづのとこ）で「癸」は潤いの水で再生と芽生えがあり、「卯」は繁栄と成長、豊かな実りを表すことばです。

1月2日、皇居・宮殿では、このコロナ禍の中3年ぶりに新年一般参賀が行われ天皇・皇后陛下、上皇ご夫妻や皇族方が参列されました。元日の実業団駅伝はHONDA、2日3日の箱根駅伝は駒澤大学が優勝3位に相模原の青山学院大学が入りました。

2020年に上陸した「コロナ感染症」は、22年1月から3月まで第6波、7月から9月まで第7波、第8波は12月から始まり23年1月も収まりませぬが、まず、2022年度（以下22年と表記）の相模原ボランティア協会の事業について振り返ってみたいと思います。まず、「Hの事業」の問題点は運行率が悪く特に南区の利用者の掘り起こしが必要となります。さらに11号車の車両不良による買い替えなどによる対応が必要と思われる。

「傾聴」については、コロナ禍によって利用者が減り現在15人くらいに推移していますが、高齢者支援センターやケアマネに対するPRをきかせていただこうと考えています。

「講座」については、夏講座と11日間の傾聴講座を開催し、23年3月25日「SDGsとボランティア」について講座を開催します。

「広報委員会」は、ぼらんていあ通信の発行・取材見やすいホームページなど精力的に活動し、ぼらんて

いあ通信の発送には若者サポートステーションの協力を得ています。

「交流事業」は、4月の「桜まつり」は中止。6月には「SDGsを学ぶ」として大野南中の学生を招いてボラ協の事業説明をし学生の質問等に対応しました。10月の「ほかほかふれあいフェスタ」は時間などを縮小し開催しましたが観衆も多く大成功といえます。11月の「障害者週間キャンペーン」は雨のため中止しました。23年2月の「ボウリング大会」は中止。23年3月に市の主催で「地域活動マッチング相談会」があり、出席する予定でした。

「家賃転倒防止」「住まい探し」「就労支援」「切手などの募金活動」「黄色いシートキャンペーン」など必要に応じ活動も進みました。

2023年度は、「若葉祭の」「ほかほかふれあいフェスタ・障害者週間キャンペーン」「ボウリング大会」などは開催の方向で検討しております。

「夏の講座」はこれからボランティアをやりたいという人を対象に共生社会、多様性の理解、ボランティアに期待される役割などの基礎的な理解を図る講座を開催します。

その他の事業については、従来通り積極的に事業を展開していきますが、「ボラ協の役割は何か」「持続可能なボラ協を作るために何をすべきか」など検討して行きたいと思っております。

最後になりますが、皆様の「ご幸をお祈りするや共にご様の「活躍」に協力を願っています。



あらい りえ  
**新井 理恵**

40年ほど前、結婚とともに夫の地元である相模原に住み始め、十数年暮らしました。

その後は夫の転勤で相模原を出たり入ったりで、4年前18年ぶりに戻ってきました。

久しぶりの相模原で何か地域とつながりができたらいいなと思うと、自分の仕事もそろそろ引退を考え始め、何か他にできることはないかと思い、傾聴ボランティア講座に参加しました。

傾聴の基本を教えてください、とても勉強になりましたが、ロールプレイングをやってみるとその難しさも感じました。

また心のケア・フォーラムでは、皆さんとても難しいケースに対応していて、まり子先生のアドバイスが心にしみ、傾聴することも深いものだなと思います。

私はまだ実際の活動は1回だけで、利用者の方の明るさに助けられている感じでしたが、初心をわすれず、これから頑張りたいと思います。のびるんを応援します。

あやみ みねよ  
**鈴木 峰世**

2022年7月に傾聴ボランティア講座を受講し、メンバーになりました。いろいろなことをお願いいたします。傾聴やボランティアの経験はありませんが、利用者様のお役に立てるよう努めます。

特にこの講座の趣味はありませんが、本を読んだり、海外ドラマを観たりするのが好きです。インドア派でスポーツは全くできませんが、歩くことは嫌いで

### 新しいお仲間を迎えて!



はじちち ちかこ  
**橋本 千香子**

はじめまして。昨年12月からボランティア協会事務局庶務で

活動の仲間入りをしています。私は介護保険制度の下で相談員業務を永くして来ました。今でも笑顔と共に思い出すT氏はスポーツの世界大会に「一子として参加されました。その話をする時」

「うさ、僕は全日本の一子だったよ」と言います。ギリシャ彫刻を思わせる骨格には張りのつめて輝く筋肉はすでになく病気を乗り越えてきた月日を思わせるものでした。「病気はお辛かったですね」と伺って「お母さんがいなかったら」と言っていて涙ぐみます。お母さんとは奥様の事その時は子供の

のような表情になります。年月とは多くのものを築き、そして喪失し純粋なものを磨いていくもの、だろねとやれる出来事のことだ。

高齢化が進むこのよくな心情を秘めた「高齢者」と表現される人たちの近くで一緒に笑顔を交わして笑い合いたいと思っています。まるで中島みゆきの世界ですね。よんんを応援します。

はなごのび、あやみん、みねよも出ておられます。

静岡県浜松市出雲町、桑野市に長く住んでいました。

相模原市には08年ほど前に引っ越ししました。未だ相模原市のことは知らないうちが多々、田舎を聞いておもしろい状況です。いわからいもつやわつと相模原市のことを知ってきましたと思っております。

美味しなお店やおすすめスポットなぜひお教えください。

### 2月の記念日は?

**小倉義男**

2月23日、富士山の日です。

1996年1月1日、筑波大学附属高等学校の地理教諭・田代博が運営責任者を務めるパソコン通信「NIFTY-Serve」内のフォーラム「<http://fyamap.folomy.jp/> 山の展望と地図のフォーラム(FYAMAP)」が制定。その後に山梨県河口湖町が2001年(平成13年)12月に同様の宣言をして、静岡県も2009年に県条例で制定しています。やはり富士山は日本のシンボルですね。



小倉画

(o^o)

### クイズに挑戦

2023年がスタートしました。お正月に関する漢字クイズです。何と読ぶでしょうか?

- ① 笑門「来福
- ② 新春万福
- ③ 吉祥



答えを探してページをめくってね。



ポランティア活動グループ訪問記



地域のコミュニケーションを大事に  
野菜の移動販売「ほらんていあ」



令和4年もコロナ感染症対策を取りながら、日曜を取り戻しつつ、慌ただしく過ごしているうちに、12月12日のポランティア協会事務局で、野菜の移動販売ご代表の小川豊さんにお話を伺いました。販売の様子は後日改めて取材をさせていただきます。

◆ほらんていあはいつから?

以前、農産物直売所に勤めていたのですが、「地域のために役に立つことがしたい」という思いがありました。その頃、高齢化が進み「買い物難民」という言葉をよく耳にするようになりました。買い物に苦労している方は都市部でも増えていると感じ、移動販売を始めようと思いました。2019年6月に一人で始めました。車を購入し品物を並べやすいように工夫をしています。

◆野菜の仕入れは?

地元相模原の農家さんの野菜や横浜市場から新鮮な野菜等を仕入れています。

◆販売日、地域は?

販売日は月曜日から金曜日の週5日で、月水金、火



笑顔も素敵な小川さん

木とコースが異なります。地域は相模原市内を中心に県営上溝団地や店舗駐車場等で、お声を掛け

ていただいた場所で行っています。

◆1ヶ所の集客人数は?

40人位の所もあれば100人の所もあり、高齢者が多いですが若い人が多い場所もあります。人が集まれば「じゃがいも」「じゃがいも」「じゃがいも」の会話が生まれ、販売だけでなく、携帯電話の使用法を教えたり、椅子の組立、お客様へ店番をお願いして重い荷物をお客様の自宅まで運ぶなど、困っていることに対応して信頼関係を築きコミュニケーションを大事にしています。

◆将来の希望は?

まだまだ需要があっても入れない場所も多く公共機関に協力をお願いしています。高齢者ももっと身近でお買物ができる場所が沢山増えれば良いと考えています。

高齢者に対する優しい思いを感じました。翌週の12月16日実際に移動販売の様子を見学させていただきました。場所は県営上溝団地旧さくらストアの前。一人で野菜を並べ開店準備をする小川さん。お客様もぼつぼつと集まり始め、お互いに挨拶や言葉交わしながら並べられた野菜を吟味しています。野菜を見れば大小さまざまな形もいろいろあったりの規格外品も20数種類の品揃いです。規格外品であっても味は変わりません。規格外品も販売することで、生産時の食品ロスの削減に繋がります。小川さんはお客様の様子を見ながら声をかけています。調理方法の説明に他の人も加わり話の輪が広がっていました。一人でしつこくやるので行列ができますが、その前後の人同士でまだ会話が生まれ、お客様もとても楽しんで



また農家さんからの野菜の寄付や遊技場から菓子の寄付を社会福祉協議会や子供食堂に届け、提供者へ受ける側の架け橋的な活動も行っているそうです。まさに小川さんが目指す「買物弱者支援や地域コミュニケーション」の活動なのかなと思いました。一生懸命、SDGsに取り組み姿がみられました。これからもこの様な笑顔の場がたかたか増えるといいですね。頑張ってください。師走の忙しいなか対応いただきありがとうございます。

(恒藤 小山)

みなさんほんとうに楽しそうにお買い物!

\*連絡先  
小川豊さん  
080-1072-1411  
tsudoya@gmail.com



\*関連記事のページに掲載しています。

理事會報告



1月14日(土) 理事會(理事の名出席)

1、報告事項

〈広報委員会〉

・ぼら通1月号 1月23日印刷 24日発送

・役員選出管理委員会から理事立候補者名簿、投票用紙、返信用封筒の同封依頼を受け作業予定。

〈事務局委員会〉

・運行指示書のエクセル化など、作業効率向上を図っている。

〈講座検討委員会〉

・3月開催の講座プログラムとして広報がみはら1月15日号に掲載予定。

・夏の講座は、障害平等研修(DET)など基礎的な理解を図る講座として、基調講演の講師が決定した。

〈DVD制作実行委員会〉

・個人にスポットをあてた動画作成を進めている。

〈傾聴委員会〉

・新人の活動状況把握と今後の参加推進を図ることをテーマに検討を進めた。

〈その他〉

・南交流フロンティアで6月25日開催される「ふくしま」の「に」参加するため、準備などの検討をした。

・3月に開催される地域包括ケア推進部主催の「マッチング相談会」に協会も参加する。

2、審議事項

・2023年度役員選挙総案について日程などを確認した。

・工の事業に関するお返しの検討した。

次回理事會は2月11日(土)・祝 10時より

投票をお忘れなく

2023年度役員として氏が立候補

委員の皆様へ役員選出委員会からのお願いで  
 当協会の次期理事定数7に対して、左記の7氏か立候補届を提出しました(五十音順)。  
 同封の「理事候補者の紹介」を参照のうえ投票をお願いします。

- |       |      |
|-------|------|
| 加藤 修  | (留任) |
| 佐藤 一春 | (新任) |
| 渡谷 久美 | (留任) |
| 恒藤 玲子 | (留任) |
| 西本 敬  | (留任) |
| 羽田 彌  | (留任) |
| 松原 俊  | (留任) |



なお、投票期間は2月1日～2月28日です。  
 投票箱は「あじさい会館」のボラ協事務局に設置しますので、委員の皆様には持参していただくかまたは郵送にて、締め切り厳守をお願い致します。  
 (FAXは不可・28日消印有効)  
 2023年1月14日  
 役員選出管理委員会

相模原ボランティア協会 2月の予定

日(曜)	時間	内容
1(水)		役員選出投票開始
4(土)	13:30~	HC委員会
7(火)	13:00~	広報委員会・ぼら通部会
11(土)	10:00~	定例理事会
13(月)	14:00~	傾聴委員会
14(火)	14:00~	講座検討委員会
18(土)	13:00~	事務局委員会
20(月)	13:00~	ぼら通2月号印刷
21(火)	13:00~	ぼら通2月号発行
28(火)		役員選出投票〆切

クイズの答え



- ①は「ごちもたらさるべし」  
 ごちも楽して笑ってごちの家には、おのちの幸せがやってくるという意味です。
  - ②は「笑門には福来る」ともいいますが、「ごちが」の方が一般的かも知れません。
  - ③は「ごちのち」  
 「新しい年に数えられたらぼらの幸福があるな」とお祈りします「ごち」の意味です。  
 「新春」は新年、「万福」はたいへんとの幸福。  
 ◎ごちごち
- 「吉祥」とは、よい兆し、めでたいことを意味する仏教用語です。浄瑠璃寺の「吉祥天立像」は、日本で最も美しい仏像といわれています。



特別企画

移動販売の役割とは？

買い物困難者支援と地域「ミニミニ」の創出  
食品ロスの削減（SDGs）繋いで！



昨年、移動販売をしようとした小川さん  
から「PCC掲載」「買い物困難者や移動販売を卒論  
のテーマに取り上げ、熱心に調査研究」する学生が  
多いとSDG、ほらんていあ通信で取り上げて欲し  
い」との情報をいただきました。

12月16日（金）10時、県高下溝団地の集会所協  
同で、寒いからと集会所に移動。  
相模原市並木にお住まいで、国分寺にある東京経済  
大学経営学部流通マーケティング学科4年生の柳下  
愛菜さんとインタビューさせていただきました。

★移動販売を卒論のテーマに選んだきっかけは？  
回覧板で下溝団地に移動販売車が来ていること  
を知り、地元も高齢化が進んでいるのだと感じたこ  
とがきっかけです。買い物困難者への支援方法や、  
その経済効果などについて興味を持ち、このテーマ  
を選びました。

★どんなジャンルの書き手でしたか？  
全国の事例を勉  
強してから、地元  
の関係者さんに、移動  
販売を始めるとは  
どのような手続き  
が必要なのかイン  
タビューしました。



素敵な笑顔の柳下愛菜さん

全国的な事例を勉強してから、地元の関係者さんに、移動販売を始めるとはどのような手続きが必要なのかインタビューしました。

行政の許可をもらう前、販売場所の確保が必要で、地主の方や自治会の方と交渉して許可を得るから、書類を提出するのですが、行政側も福祉対策の窓口が一本化されていないため、結構時間と手間がかかっています。自治会館の集会所をお借りし取材を！



自治会館の集会所をお借りし取材を！

★許可が下りれば、移動販売ができるのですか？  
やはり集会所が必要ですので、移動販売車が来ていることを認知してもらい、これも重要だと私は考え  
ています。何か貢献出来たらと思います、イラスト入りチラシを作りました。喫茶などの集いを利用して宣伝し、引きこもり気味の人にはフチコミを通じて知ってもらえたらいいなと思います。

★買い物困難者の支援の他に移動販売のメリットは？  
買い物だけでなく、付加価値として、楽しいお喋りや病院などの情報交換の場にもなっています。利用者は高齢者だけでなく、幼児をかかえた若いお母さんたちもいるので、世代間を越えた交流の場にもなっているようです。

★最近の移動販売事情は？  
イオンやイトーヨーカドーなどの大手企業も冷蔵車を使って移動販売をおこなっています。商品を頼んでおくと、次回持つてきいれます。  
野菜の移動販売のしよんさんは、食育方を教えてくれたり、野菜が重ければ届けたいからと、きめ細かいサービスを提供し、なおかつ住民同士のコミュニケーションの場を生み出している、地域として重要な存在になっていっていると思います。

野菜の移動販売のしよんさんは、食育方を教えてくれたり、野菜が重ければ届けたいからと、きめ細かいサービスを提供し、なおかつ住民同士のコミュニケーションの場を生み出している、地域として重要な存在になっていっていると思います。

行動的な大学生さんらしいからと、勝手に運い女性を想像していたら、可愛らしい楚々としたお嬢さんが出現してびっくり！ 経営学部は6対4位で女子が少ない環境で地道に調査研究して卒論に挑んでいる女子学生さんがいるよ！、高齢者のぼろっ通担当者は大いに心強くなりありがとう！感動した！  
(山崎)



大学がある国分寺の魅力をお菓子という形で届けようと、東京経済大学とJAとお菓子メーカーのコラボ商品『ぶんぶんキャラベリー』。ブルーベリーの香りが口いっぱいに広がります。お土産をいただきました！

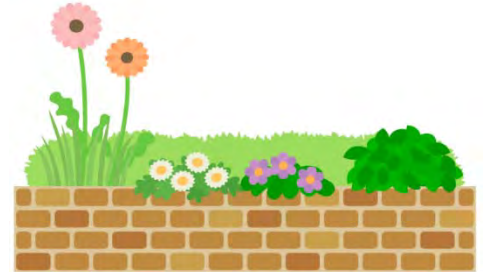


柳下さんはイラストもプロの腕前です！野菜販売車のつどやさんのチラシも作成！

駅周辺の花壇をキレイに！ 活動者募集中

『駅前にきれいな花壇をつくろう！』プロジェクトとして、皆で力を合わせて花植えや草むしり等を行っています。どなたでも参加できますので、興味のある方はぜひご連絡ください！

- 活動場所： 淵野辺駅北口交番前花壇
- 依頼日時： 月1回（土曜日） 午前10時～正午  
※具体的な活動日は、随時お知らせします。
- 依頼内容： 花壇の手入れ
- 持ち物： 軍手、汚れてもよい服装でご参加ください。  
※雨天中止
- ★依頼者： NPO 法人日本福祉リレーションシップ協会



連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所： 電話 042（759）7982  
 相模原市社協 中央ボランティアセンター： 電話 042（786）6181  
 FAX 042（786）6182  
 メール： svc@sagamiharashishakyo.or.jp



ご寄付をありがとうございました。

皆さまのご寄付は当協会の運営に有効かつ大切に使用させていただきます。

<12月の寄付者>

8名の方からご寄付を頂きました。

<12月の寄付金>

35,423 円でした。



山口尚美画

《今月のイラスト》  
 … 綿入りはなんてん、冬はこれが一番だわ。

編集後記

コロナは相変わらず猛威を振るい、天候の変動は各地で起こり、加えて物価高、そんな中で令和5年は幕が開きました。  
 この先どうなるのか見通しが立ちません。  
 お願いだから一日も早く穏やかな平和な毎日が来ますようにと祈っているこの頃です。(石)

訃報

ボランティア協会設立当初からご尽力いただいた杉崎正子さんが、過日ご逝去されました。  
 ぼらんていあ通信の編集など、広報委員のメンバーとしても長年にわたりご活躍いただきました。  
 謹んでご冥福をお祈りします。